



第8回ボランティア部会

5月9日（水）18：30～

@APCC事務局

1. 開会 (藤岡 部会長)
2. 配布資料の確認 (海上)
3. 議事録作成人の指名 (伊藤 副部会長)
4. どんたくの反省
5. 6月交流会について (西浦)
6. その他
7. 次回の部会日程決め

5月 日（ ） : ～

5・6月の登録会日程決め

次回登録会

5月 12日（土）	14:00～	@西日本新聞会館 14階
20日（日）	14:00～	@西日本新聞会館 14階
30日（水）	18:30～	@西日本新聞会館 14階
6月 3日（日）	14:00～	@西日本新聞会館 14階
11日（月）	18:30～	@市役所北別館 4F 第2会議室
17日（日）	14:00～	@西日本新聞会館 14階

8. 閉会

配布資料：

- ・ 式次第
- ・ 6月交流会議案
- ・ プログラムについて

★部会出欠表

※個人情報によりホームページ上には載せておりません。

★各部会登録状況（2007年5月9日現在）

部会名	登録者数
SOS	184
イベント	69
ウェルカム	69
チャリティーチャンペーン	27
ネットワーク	25
ブリッジクラブ(ジャパン)	71
ホームステイ	22
ボランティア	52
医療	18
教育交流	47
交流キャンプ	168
通訳	50
派遣	64
翻訳	55

起票日 2007年 5月 7日



## 事業計画書

### 第19回事業年度 部会長会議

05 月度 / 討 議  / 協 議  / 審 議  / 報 告(依頼・経過事項含む)

00 月度 / 討 議  / 協 議  / 審 議  / 報 告(依頼・経過事項含む)

00 月度 / 討 議  / 協 議  / 審 議  / 報 告(依頼・経過事項含む)

議案名： 6月度 ボランティア交流会について

部会名： ボランティア部会

部会長名： 藤岡 誠

担当執行部： 大倉議長

担当コ-ディネ-ター： 海上 愛

### 1. 事業要綱

#### 1-1, 事業名

6月度ボランティア交流会「とりあえず来てみんしゃい！」

#### 1-2, 事業目的 (通年 ①~③、6月度 ④~⑥)

- ① ボランティア同士の交流を行うことで、部会という枠を外した関係を築き、部会間の連携を向上させる。新規登録者にとって最初の一步を踏み出すきっかけを作り、今後の活動へとつなげる。また、既存ボランティアにも参加してもらうことにより、新メンバーと知り合い、交流を深めてもらう。
- ② 交流会や研修会を通し徐々に APCC に対する理解を深めてもらう。また、ボランティア部会メンバーにとっては企画運営力を育む活動を目指す。
- ③ 通年で活動することで、派遣・招聘期間以外でも常に個人個人のボランティア意識を高め、一年単位ではなく次年度以降への活動にもつなげられる環境作りをする。
- ④ 招聘直前の時期に数多くのボランティアと知り合うことにより、個々のモチベーションを向上させる。また積極的に初対面の人と打ち解けられるようにする。
- ⑤ 共同作業をすることの難しさ、大切さを学び、一つの目標に向かい、一致団結することの素晴らしさを知る。
- ⑥ APCC の目的、ボランティアの役目の再確認ができる場とする。

#### 1-3, 事業対象者

第19回ボランティア登録者

### 2. 事業概要 (事業内容)

#### 2-1, 実施日時

6月16日(土) 15:00~17:00

#### 2-2, 実施場所・会場

西日本新聞会館(予定)

#### 2-3, 予算総額

¥ 0

#### 2-4, 参加員数計画

100人

## 2-5, 実施プログラム

5月18日 参加者募集開始（一斉メール、チラシ、口頭にて）

また、部会メンバーが各部会に出向いて参加の呼びかけをする。

6月5日 募集締め切り

6月9日 参加者へ詳細連絡

\*6月16日 当日の流れ

14:30 受付

15:00 交流会開始(挨拶、趣旨説明)

15:05 ゲーム(仲間作りゲーム)

15:30 貼り絵

16:30 We are the BRIDGE の歌詞の読み合わせ

(日本語バージョンの歌詞あてクイズ)

17:00 交流会終了(終わりの言葉)

## 2-6, 運営体制(通年)

- ・ ボランティア部会の中で各回の企画担当者を決める。(2~3名)
- ・ 当日運営スタッフは、部会メンバーで役割分担。企画の内容や規模によっては他部会にも応援を要請。
- ・ 全登録ボランティアへの案内は、事務局からの一斉メールと口頭にて行う。また各部会長から部会等で告知してもらう。
- ・ ボランティア登録説明会にて、新規ボランティアにも呼びかける、かつ\*登録一週間後メールにて案内する。\*登録一週間後メールとは、登録説明会の一週間後に新規登録ボランティアにメール送信確認と各部会の案内を兼ねて送るメールのこと。
- ・ 毎回新しいメンバーが参加してくれるよう、各交流会にテーマを設けるなどして、案内文章・呼びかけ方を工夫する。

## 3, 流れ

### 第8回 部会長会議事前ミーティングでの意見

意見：貼り絵の中にボランティアから子どもたちへのメッセージを入れ、「子どもたちへメッセージを送ろう！」というタイトルにすれば参加を募りやすいのでは。

意見：貼り絵の内容を世界地図にして、マリンハウスに飾ってはどうか。

意見：事業対象者を新人に絞ってはどうか。

5月17日 部会長会議 討議議案提出

## 4, 添付資料

チラシ、ゲーム・貼り絵詳細

## 5, 討議/協議のポイント

招聘直前の時期にどのような呼びかけをすれば多くの人に集まってもらえるか、良い案があれば意見を頂きたい。

## 仲間作りゲーム内容

【目的】初対面のボランティア同士が打ち解けられるようにするため。また招聘時に自ら積極的にこども大使や他のボランティアに話しかける練習にもなる。

- トピックと人数を伝え、各自で動き、グループを作ってもらおう。

＊トピック…（例）「4種類全ての血液型の人を集める」など

- できあがったグループごとに簡単な自己紹介をしてもらう。

このようなグループ分けを2,3回繰り返し、数多くの参加者と交流し、緊張をほぐす。

## 貼り絵

【目的】共同作業をすることの難しさ、大切さを学ぶ。部会を超えたボランティア同士のつながりを深める。招聘時に完成品を展示するという1つの目的に向かい、みんなで一丸となる。

- 8つのグループに分かれる。（1グループ12～13人 計100人）

＊あらかじめ受付で配る名札の裏にグループ番号を記入しておき、その番号でグループに分かれてもらう。

- 各グループに貼り絵の下地となる模造紙と折り紙を配布。

＊模造紙には既にどこに何色の折り紙を貼るか記入済。8枚を組み合わせると1つの大きな絵となる。

- 1時間で各グループ、模造紙1枚を完成させる。その後、模造紙回収。

＊8つの模造紙を組み合わせた完成版は、招聘時の交流キャンプ、パフォーマンスのイベント会場などでみんなの目に触れるように今後関係部会と調整。

- 交流会最後に8つの模造紙をつなぎ合わせた絵をみせられるようボランティア部会メンバーが準備する。

